

麻生区区民会議 第2回環境部会

(議事要旨)

1. 日 時 平成20年11月13日(木)午後2時3分から午後4時18分まで
2. 場 所 麻生区役所第4会議室
3. 出席者 天野委員、市川委員、伊藤委員、碓井委員、神本委員、山崎委員、渡邊委員
(事務局)荻原企画課長、重森主査、稲葉
4. 傍聴者 0人

まず、事務局から昨日行われた地域交流部会の報告を行い、また第1期の「農」の専門部会で進められていた「学校農園を利用した地域交流」の実践として10月28日に王禅寺小学校で行われた芋掘りの報告を行った。

1 調査審議課題について

伊藤部会長が作成した「検討課題(案)」について部会長から説明があった。主な意見は、次のとおり。

- ・ 環境部会は「エコ」と「緑」の2つのテーマで進めていってはどうか。
- ・ 「区作り白書」など昔のことを掘り起こして同じことをやっても意味がない。
- ・ 「区作り白書」などはエッセンスを得るだけでも有益だと思うので、勉強会を開いてはどうか。
- ・ やはり「エコのまち あさお」のように大きなテーマは作らないほうがよいのでは。
- ・ 区民会議が何を指すのかをはっきりすべき。

区民会議では、「調査審議を行い、区長への提言をまとめるまでを担う。そして、実践活動の担い手を決定するところまでを行う」ということで、共通認識となった。

環境部会の取組について、テーマ、考え方、具体的な取組例とスケジュールを示した資料について事務局から説明を行い、続いて伊藤部会長から部会長が作成した「エコのまち麻生」構想の検討事例と実現方法を示した資料の説明が行われた。それらの資料を基に、環境部会で取り組みを進めていくうえでの具体的なアイデアについて委員で討議を行った。主な意見は、次のとおり。

- ・ 個人が出来ることをやるのか、区民全体を巻き込むのかをはっきりさせた方がよい。全体を巻き込むなら町会と一緒にやらないと無理。
- ・ 「エコバッグを持参したらスーパーのポイントをつけてもらえる」というのを提案しては？
- ・ 環境家計簿は、こどもをターゲットにしてやってみるのはどうか。(テレビを一時間消すとこの程度、給食をこれだけ残すとこの程度、など)
- ・ 廃油で作ったせっけん「きなりっこ」を普及したい。

- ・ 給食で発生した残飯の堆肥化を検討してみてもいいか？（既に真福寺小学校で行っている、とのこと）
- ・ 今度建設される「あさおリサイクルパーク」を利用できないか。リサイクル場に堆肥を集めて農家に配ると喜ばれそう。
- ・ 東百合丘に生ゴミを集めて堆肥を作っているところがある。町会と協力してモデル地区を選定するなどして、地域で実現できないか。
- ・ 生ゴミの堆肥化の普及・啓発は一つの方向性としていいのでは？
- ・ ダンボールコンポストを利用するのも一案。
- ・ レジ袋の有料化に向けた商店街連合会などの協定を結べないか。
- ・ 地産地消や食育も一つのテーマに出来る。
- ・ 家庭でできる温暖化対策のパンフレットやガイドブックを作ってはどうか。
- ・ パンフレットなどは環境省から既にたくさん発行されているので改めて1から作る必要はないと思う。
- ・ 区民会議ニュースでエコのコーナーを設けるなどして、少しずつ伝えていってはどうか。
- ・ 区民会議ニュースは読まれないで捨てられてしまう可能性が高いので、A3サイズの保存版で情報を充実させる、ポスティングにするなどして工夫しないと効果はないと思う。

【議論のまとめ】

環境部会としては「『エコのまち あさお』の推進 ～持続可能な地域社会の創造を目指して～」というキャッチフレーズの基に具体的な取組みを進めていくこととなった。取組事例としては、以下を中心に検討していくこととなった。

生ゴミ堆肥化の普及啓発、地域での取組

エコバッグの普及 地域交流部会で取組済みのため、要再検討

地産地消、食育に関する取組

環境家計簿の作成、普及